

## 第 11 回定時社員総会議事録

一般社団法人日本音響家協会は 2014 年 5 月 27 日 13 時 00 分から、東京都新宿区新宿 6-14-1、新宿文化センター第一会議室において定時社員総会を開催した。

議決権のある社員総数 409 名

出席社員数（委任状によるものを含む） 270 名

以上のとおり社員の出席があったので、定款の規定により、会長（代表理事）八板富榮は議長席につき、本総会は適法に成立したので開会する旨を告げ、議事に入った。

### 第一号議案 2013 年度事業報告の承認に関する件

議長は 2013 年度の事業報告書を提示し、それぞれの担当者から説明報告を行い、質疑応答の後に承認を求めたところ、満場異議なく承認可決された。

### 第二号議案 2013 年度決算の承認に関する件

議長は 2013 年度会計報告書類を提示し、会計執行主席理事が説明報告を行い、質疑応答の後に承認を求めたところ、満場異議なく承認可決された。

### 第三号議案 理事並びに監事の任期満了に伴う改選に関する件

議長は、全理事並びに監事が定款の規定により本総会の終結と同時に任期満了し、退任することになるので改選の必要があることを述べ、下記の者を指名して可否を諮ったところ、満場異議なくこれに賛成したので下記のとおり可決確定した。

なお、被選任者のうち総会に出席した者はすべて即時就任を承諾した。

#### 理事

網野	岳俊	(重任)
木枝	義雄	(重任)
高崎	利成	(重任)
丹羽	功	(重任)
深尾	康史	(重任)
八板	富榮	(こと八板賢二郎) (重任)
鷹栖	了	(重任)
小野	隆浩	(重任)
糸日谷	智孝	(新任)
坪田	栄蔵	(新任)
竹部	健太	(新任)
高橋	裕道	(こと犬塚裕道) (新任)

#### 監事

三好	直樹	(重任)
----	----	------

第四号議案 2014 年度事業計画に関する件

議長は 2014 年度事業計画案を提示し、これを各担当者が説明し、承認を求めたところ、満場異議なく可決決定した。

第五号議案 2014 年度予算に関する件

議長は 2014 年度予算案を提示し、これを会計執行主席理事が説明し、承認を求めたところ、満場異議なく可決決定した。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、14 時 10 分に閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事全員がこれに記名押印する。

2014 年 5 月 27 日

一般社団法人日本音響家協会定時社員総会

議長理事 八 板 富 榮 印

理事 網 野 岳 俊 印

理事 大 野 正 美 印

理事 鎌 田 晶 博 印

理事 木 枝 義 雄 印

理事 高 崎 利 成 印

理事 鷹 栖 了 印

理事 丹 羽 功 印

理事 深 尾 康 史 印

理事 山 形 等 印

監事 三 好 直 樹 印

## ■2013 年度事業報告書

### 1、概況

本部主催の事業に力を入れ、音響創造のための内容を充実させた。

支部の活動は、地域性が定着して有意義なイベントを実施したが、会員の参加が芳しくなかったため、更なる努力を要する。

### 2、事業報告（敬称略）

#### 1) 本部の主な活動

##### (1) 日本音響家協会賞

①2013年5月28日、2012年特別賞受賞者本輝夫の贈賞式を新宿文化センター第1会議室にて実施した。

②2014年日本音響家協会賞の候補者を審査し、浅原勇治を決定した。

##### (2) 優良ホール百選

前期に「千葉県東総文化会館」「奈良県・やまと郡山城ホール」、後期に「かめありリリオホール」を認定した。

##### (4) 出版委員会

機関誌サウンドA&Tを4回発行した。

##### (5) 事業委員会

①2013年4月20日〔府中市・モランボン本店ホール〕JAZZ in FUCHU 実行委員主催の第1回ジャズサウンドラボラトリー。講師は及川公生。

②2013年6月15日〔ルミエール府中〕JAZZ in FUCHU 実行委員主催の第2回ジャズサウンドラボラトリーを共催。講師は八板賢二郎。ザ・ゴールドエンジンと株式会社エヌエスイーが協力。

③2013年6月18日～19日〔NHK大阪ホール・リハーサル室〕音響家技能認定講座・ベーシックコースを開催。西日本支部の共催。

④2013年7月20日〔府中市・モランボン本店 HALL ひまわり〕第3回ジャズサウンドラボラトリー/最終章を共催。講師は増旭。

⑤2013年10月27日〔東京・府中市内〕JAZZ in FUCHU の音響支援協力。

⑥2013年12月5日〔かめありリリオホール〕音のゼミナール・楽器の王様「ピアノ」大研究を開催。講師は三好直樹、及川公生、昆布佳久、山家清彦。ピアノ演奏を浅岡みほり。協力はコモドマッティーナ株式会社 有限会社ソナリサーチ、ヒビノ株式会社、株式会社エルシー電機。

⑦2014年1月16日〔兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール〕音響家技能認定講座・ビギナーズコースを開催。西日本支部と兵庫県立芸術文化センターの共催。

⑧2014年1月27日〔国立能楽堂〕新春イベント「音響効果サミット2014」の報告～匠たちが“効果音”の神髄を語る～を開催。講師とパネラーは、大池 隆仁（テレビ）、小野 隆浩（オペラ）、佐々木英世（映画）、三田 裕（CM）、八板賢二郎（歌舞伎）、山本 能久（現代演劇）。

⑨2014年2月18日～19日〔千葉県文化会館・会議室〕音響家技能認定講座・ベーシックコースを実施。東日本支部と共催。

⑩2014年3月21日〔都城ウエルネス交流プラザ〕セミナー「ドラムマイキング徹

底検証」を九州ブロックと共同開催。講師は奥山竜太、デモンストレーターは上之園謙治。都城まちづくり株式会社共催、宮崎県音響照明舞台事業協同組合後援、協力はヒビノ株式会社、ゼンハイザージャパン株式会社、ページワンプランニング株式会社、有限会社テクニラボ。

◎ピアノ大研究では、ボランティアスタッフ制度を採用し、仕込み段階から一般会員の方々にお手伝いをお願いした。

#### (6) 会議

定時社員総会を2013年5月28日に新宿文化センター会議室で開催。

定例理事会を2回、臨時理事会を3回開催。

## 2) 支部の主な活動

### (1) 北海道支部事業

①2013年7月24日 [道民活動センタービル かでる 2.7] セミナー「特定ラジオマイクの周波数移行について」を開催。講師は700MHz利用推進協会移行調整部の坂本亨、竹内正博。

②2013年7月24日 暑気払いビアパーティーを開催。

③2013年9月20日 [札幌市教育文化会館] セミナー「東日本主催のネットワークセミナー」に参加。

#### ◎出版・編集

SOUND A&T・76号の特集記事を担当。テーマは「北海道発～舞台から発信する新しい地域の文化づくり Part3～地域の文化づくりへの私たち技術者の関わりは」

#### ◎会議

定時支部社員総会を2013年4月18日に開催。

運営委員会を5回開催。

### (2) 東日本支部事業

①2013年6月25日 [新宿区笹塚区民ホール] デジタルミキサーセミナーを開催。

②2013年9月20日 [機械振興会館 B3 研修室 1] ネットワークセミナーを開催。

③2014年2月10日 [国立音楽大学 オーケストラスタジオ] 楽器を知ろう「金管楽器」を開催。

④2014年2月18日～19日 [千葉県文化会館・会議室] 音響家技能認定講座・ベーシックコースを実施。

⑤2014年3月13日 [フォスター電機本社] フォスター電機見学会を実施。

#### ◎出版・編集

SOUND A&T・75号の特集記事を担当。テーマは「改めて考える、デジタル卓の導入について」

#### ◎会議

定時支部社員総会を2013年4月22日に開催。

運営委員会11回と事業毎の臨時会議を開催。

### (3) 北陸支部事業

- ①2013年5月14日 [金沢芸術村・パフォーミングスクエア] セミナー「ドラムのマイキング・ミキシング」を事業委員会共催により開催。講師は昆布佳久、演奏は山本拓真。
- ②2013年9月10日 [津幡町文化会館シグナス・研修室] セミナー「録音を愉しむ」を開催。講師は加藤敏久。
- ③2014年2月19日 [新川文化ホール] 富山県公立文化施設協議会主催セミナー「ジャズ演奏会の回線仕込み、サウンドチェック等」を共催。
- ④2014年2月20日 [新川文化ホール] 富山県公立文化施設協議会主催セミナー「ジャズ演奏SRの実際」を共催。講師は昆布佳久。演奏は友井賢太郎音楽事務所（ピアノ、ドラムス、ベース、トランペット）

◎サウンドA&T特集記事の編集、テーマは「ホール運営・改善のアイデア集」

◎支部会員情報紙「小音響かわらばん」を6回発行。

◎会議

定時支部社員総会を2013年5月14日に開催。

運営委員会を6回開催。

### (4) 中部支部事業

- ①2014年1月22日 [日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール] プロ音響機器フェア in NAGOYA 2014 を開催。11社が参加。
- ②2014年2月19日 [広小路ヤマハホール] 藝どころ名古屋で学ぶ 第11回邦楽セミナー「下座音楽」を開催。講師は幫間喜久次、犬塚裕道。演奏はNPO花の会（小野崎隆賢・杵屋喜鶴）。協力はヤマハミュージックリテイリング名古屋店、有限会社ザ・イアーズ。協賛はイーブイオーディオジャパン、株式会社エーアンドブイ、ヤマハサウンドシステム株式会社、ローランド株式会社。

◎会議

定時支部社員総会を2013年4月24日に開催。

運営委員会を毎月第2水曜日（8月休会）に11回開催。

### (5) 西日本支部事業

- ①2013年6月18～19日 [NHK 大阪ホール・リハーサル室] 音響家技能認定講座・ベーシックコースを共催。
- ②2013年9月11日 [八尾市文化会館・プリズムホール] LIVE デジタル卓システムセミナーを開催。協賛社はスチューダージャパンプロードキャスト、ヒビノインターサウンド、バステックオーディオ、ヤマハミュージックジャパン。八尾市文化振興事業団の共催。
- ③2013年12月17日 [大阪芸術大学] 「エジソンから現代に至る録音メディアの変貌〈変遷〉」勉強会。
- ④2014年1月16日 [兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール] 音響家技能認定講座・ビギナーズコースを共催。
- ⑤2014年2月7日 [滋賀県立芸術劇場・びわ湖ホール] 滋賀県立芸術劇場・びわ湖ホールの協力で、オペラ・サウンドデザイン・セミナーを開催。講師は押谷 征仁。

- ⑥2014年3月6日 [貝塚コスモシアター 中ホール] 全国公文協技術研修会「音塾・電源編」を協力。講師は松本泰、アシスタントは前川幸豊。
- ⑦2014年3月21日 [都城ウェルネス交流プラザ] ドラムマイキングセミナーIN都城を共催。講師は奥山竜太、ドラムデモンストレーターは上之園謙治。
- ⑧2014年3月28日 [舞子ビラ神戸・あじさいホール] ジャズ音響塾を開催。講師は及川公生、原田健一、米田忠雄。

◎出版・編集

SOUND A&T・77号の特集記事を担当。テーマは「音響 温故知新・録音メディアの変遷パート1 エジソンから6mmテープ全盛期を振り返る」

◎会議

定時支部社員総会を2013年5月7日に開催。  
運営委員会を5回開催。

**3) 資金調達の状況**

協会の運営費は会員からの会費で賄っているが、機関誌の出版経費は広告掲載料を充てている。本部のイベント開催経費はプロ音響データブックの印税等で運営できている。

## ■2014 年度事業計画

### 1) 事業委員会

- ①2014 年 5 月 音響家技能認定講座・ベーシックコースを札幌で開催（北海道支部共催）
- ②2014 年 8 月 音響家技能認定講座・ベーシックコースを大阪で開催（西日本支部共催）
- ③2014 年 11 月 音響家技能認定講座・ベーシックコースを関東で開催（東日本支部共催）
- ④2015 年 1 月 音響家技能認定講座・ビギナーズコースを兵庫県で開催（西日本支部共催）
- ⑤2015 年 2 月 日本音響家協会認定 1 級技能検定を東京で開催（東日本支部共催）
- ⑥その他のイベント

支部では実施されない内容を立案して実施します。

機器の追求ではなく、音響創造に関わる内容を重点的に次のようなイベントを実施します。

- ◎音声（ボイス/ボーカル）の收音
- ◎8 の字巻コンテスト（支部との共催）
- ◎音の展覧会
- ◎その他、支部との共催イベント

### 2) 出版委員会

機関誌「サウンド A&T」を 4 回発行します。

特集記事の編集は、78 号（2014 年 7 月 1 日発行）を中部支部、79 号（2014 年 10 月 1 日発行）を北陸支部、80 号（2015 年 1 月 1 日発行）を東日本支部、81 号（2015 年 4 月 1 日発行）を北海道支部が担当。

### 3) 日本音響家協会賞

年度末に候補者を募集し決定します。

### 4) 優良ホール百選

常時候補受付とし、年に 2 回審査し認定します。

### 5) 支部の事業

各支部は以下のとおり計画をしています。

#### (1) 北海道支部

- ①音響セミナー「ベーシックコース」の開催
- ②毎年恒例のビアパーティーを 7 月に開催
- ③支部オリジナルセミナー
- ④機関紙 SOUND A&T 81 号（2015 年 4 月 1 日発行）の特集記事の編集を担当

#### (2) 東日本支部

- ①2014 年 6 月 13 日 スピーカ試聴会
- ②2014 年 11 月 音響家技能認定講座ベーシックコース（本部との共催事業）
- ③2015 年 2 月 1 級音響技術者技能検定（本部との共催事業）
- ④楽器を知ろう
- ⑤ネットワークセミナー
- ⑥施設見学会

- ⑦茶話会
- ⑧スピーカチューニングセミナー
- ⑨芸術鑑賞会
- ⑩協会機関誌 SOUND A&T 80号(2015年1月1日発行)の特集記事の編集担当
- ⑪支部社員宛メールマガジン発行

(3) 北陸支部

- ①2014年5月13日 第1回音響セミナー「スピーカーシステムのチューニング」&交流会
- ②第2回音響セミナー
- ③「ホールを訪ねる」及び第3回音響セミナー
- ④協会機関誌 SOUND A&T 79号(2014年10月1日発行)の特集記事の編集を担当
- ⑤会員情報誌「小音響かわらばん」を年間6回発行

(4) 中部支部

- ①シリーズ事業-1 2015年1月に「プロ音響機器展示会フェア IN NAGOYA 2015」を開催
- ②シリーズ事業-2 2015年2月に「第12回邦楽セミナー」を開催
- ③会員のための「音響セミナー」等
- ④会員相互の交流を促す「見学会」「親睦会」等
- ⑤協会機関誌 SOUND A&T 78号(2014年7月1日発行)の特集記事の編集を担当

(5) 西日本支部

- ①2014年4月30日 MBS新館設備見学会
- ②2014年6月 セミナー(未定)ミックスダウンセミナー
- ③2014年7月17日 オペラセミナー(滋賀県立びわ湖ホール)
- ④2014年8月25日~26日 音響家技能認定講座・ベーシックコース(NHK大阪)
- ⑤2014年9月 デジタル卓セミナー(プリズムホール)
- ⑥2014年10月 音塾とSmaart & SIMセミナー
- ⑦2015年1月 音響家技能認定講座・ビギナーズコース(兵庫県芸文中ホール)
- ⑧2015年2月 セミナーを予定
- ⑨2015年3月 JAZZ音響塾
- ⑩防災音響シンポジウム
- ⑪8の字巻きコンテスト 地区予選

# 決 算 報 告 書

第 11 期

自 2013年 4月 1日

至 2014年 3月31日

一般社団法人 日本音響家協会

東京都府中市住吉町2-18-1-412

## 貸借対照表

2014年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未払金	558,078
現金	630,057	預り金	95,827
普通預金	6,575,825	流動負債計	653,905
現金・預金計	7,205,882	<b>負債の部合計</b>	<b>653,905</b>
(売上債権)		<b>資 本 の 部</b>	
未収入金	19,024	<b>【基金】</b>	
売上債権計	19,024	基金	3,000,000
(その他流動資産)		基金計	3,000,000
前払費用	41,994	<b>【剰余金】</b>	
その他流動資産計	41,994	損失てん補準備金	730,000
流動資産合計	7,266,900	当期末処分剰余金	3,024,780
<b>【固定資産】</b>		(うち当期剰余金)	△837,605
(有形固定資産)		剰余金計	3,754,780
工具器具備品	19,296	<b>資本の部合計</b>	<b>6,754,780</b>
有形固定資産計	19,296		
(無形固定資産)			
商標権	122,489		
無形固定資産計	122,489		
固定資産合計	141,785		
<b>資産の部合計</b>	<b>7,408,685</b>	<b>負債・資本の部合計</b>	<b>7,408,685</b>

有形固定資産の減価償却累計	0	受取手形割引高	0
手形裏書譲渡高	0	保証債務	0

## 損 益 計 算 書

自 2013年 4月 1日  
至 2014年 3月31日

(単位：円)

### 《経常損益の部》

[営業損益の部]

【収入】

正会員年会費	3,227,405
準会員年会費	280,000
入会金	48,000
雑誌広告収入	2,888,635
事業委員会収入	753,750
印税収入	77,910
セミナー等収入	1,292,550

収入計

8,568,250

【売上原価】

期首商品・製品棚卸高	0
当期商品仕入高	0
合計	0
期末商品・製品棚卸高	0

売上原価計

0

売上総利益

8,568,250

【事業経費】

事業経費計	9,407,192
-------	-----------

事業剰余金

△838,942

[事業外損益の部]

【事業外収益】

受取利息	1,232
雑収入	105
事業外収益計	1,337

【事業外費用】

事業外費用計	0
--------	---

経営剰余金

△837,605

### 《特別損益の部》

【特別利益】

特別利益計	0
-------	---

【特別損失】

特別損失計	0
-------	---

税引前当期剰余金

△837,605

当期剰余金

△837,605

前期繰越剰余金

3,862,385

当期末処分剰余金

3,024,780

1株当たりの利益(損失)

0.00

## 販売費及び一般管理費内訳書

自 2013年 4月 1日

至 2014年 3月31日

(単位：円)

---

雑誌出版費	1,433,591
事業委員会事業費	164,720
講演料・謝金	830,138
通信発送費	522,648
旅費交通費	1,832,310
広告宣伝費	16,486
接待交際費	209,267
会議費	2,326,325
事務用消耗品費	192,333
備品消耗品費	881,470
租税公課	774,496
諸会費	30,000
支払手数料	91,251
減価償却費	9,038
商標権減価償却	13,085
雑費	80,034
事業経費計	<u>9,407,192</u>

## 2014年度予算案

## 収入

内訳	予算 A	前年度決算 B	増減額 A-B	備考
正会員年会費	3,200,000	3,227,405	-27,405	
準会員年会費	250,000	280,000	-30,000	
入会金	40,000	48,000	-8,000	
雑誌広告収入	2,500,000	2,888,635	-388,635	
事業委員会収入	750,000	753,750	-3,750	
印税収入	70,000	77,910	-7,910	
セミナー等収入	1,250,000	1,292,550	-42,550	
雑収入	214,220	1,337	212,883	予定納税還付
小計	8,274,220	8,569,587	-295,367	
前期繰越	3,024,780	3,024,780	0	
計	11,299,000	11,594,367	-295,367	

## 支出

内訳	予算 A	決算 B	増減額 A-B	備考
雑誌出版費	1,500,000	1,433,591	66,409	
事業委員会費	500,000	164,720	335,280	
講演料・謝金	900,000	830,138	69,862	
通信運搬費	700,000	522,648	177,352	
旅費交通費	1,800,000	1,832,310	-32,310	
広告宣伝費	20,000	16,486	3,514	
接待交際費	300,000	209,267	90,733	
会議費	2,500,000	2,326,325	173,675	
事務消耗品費	200,000	192,333	7,667	
備品消耗品費	400,000	881,470	-481,470	
新聞図書費	5,000	0	5,000	
公租公課	36,000	774,496	-738,496	
諸会費	30,000	30,000	0	
支払手数料	100,000	91,251	8,749	
減価償却費	10,000	9,038	962	
商標権償却	20,000	13,085	6,915	
雑費	100,000	80,034	19,966	
小計	9,121,000	9,407,192	-286,192	
予備費	2,178,000			
計	11,299,000			